



純男実行委員長のもと、スタッフ全員の一致協力と、バザー商品ご提供等地域の皆様のご支援を頂きまして、この祭りが例年以上の盛況となり地域の活性化が充分に図られたと思っております。ふれあい協議会委員  
中尾武夫さん寄稿（金地）

**子供会と老人クラブの交流会に参加して**

我が家の孫達は女の子二人、男の子一人の三人です。隣に住んでいて、週末には泊まりに来て遊んだり、色々な話を話してくれるのが私達の楽しみです。最近「メタボじい」、「メタボばあ」と言われ「早く直しなさい」と笑われています。みんなが健康で優しい思いやりのある人に、育って欲しいと願っ



ていました。大家福盛さん寄稿（堀の内）

**岩村公民館移動学習に参加して**

七月十八日、朝降っていた雨も出発する頃には止み、いい一日になりそうな青空になりました。八時半にふれあいセンターを出発し、バスは一路松山へ、二時間半ほどで松山市内にある「坂の上の雲ミュージアム」へ。

バスの中では、冷房が効いていて寒いくらいだったのですがバスを降りた瞬間のムツとした熱風、帽子や日傘がないと焼けつくような暑さでした。建てられて一年余りのミュージアムの中は階段ではなく、ゆるやかなスロープでつながっていて、来年から三年に渡り放送予定の、司馬遼太郎作「坂の上の雲」の登場人物が細かく説明されていてちよつとだけ明治時代の精神にふれられ、放送されるようになれば見ようかなと言う気持ちにさせられました。もちろん館内には一般市民の作品の絵画、書道が見やすく展示されています。昼食は歩いてすぐの松山東急インでのバイキング、やはり食べる事は一番、皆何回もお代わりをしています。それから松山城へ、又歩いて十五分ほど暑い暑いという言葉しかでてこない位の猛暑、でも久しぶりに乗ったりフト、ちよつとだけ子供にかえり、それから長い階段で汗をかきかき天守閣まで登ると、四方に高知より広い松山市内が一望でき、時々吹く風にあたりながら広い松山城に感動。

帰りはパーキングエリアへ二ヶ所も寄っていただき、お土産を沢山買うことができました。やはり食べることに、買い物するのが一番楽しく感じられるのは私だけでしょうか。一日を振り返っても暑い暑い言葉が一番多かった一日であったように思われます。企画下さった方、市役所の方々には申し訳ないのですが、でも又、参加したいと思

入交泰子さん寄稿（包末）

